-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、東京女子医科大学救命救急センターでは、本学で保管している診療情報を用いて、下記の研究を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名]　急性薬物中毒患者の年齢構成と臨床的特徴の年次推移

[研究対象者]　2015 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までに、東京女子医科大学救命救急センターへ救急搬送され、医薬品の過量摂取による急性薬物中毒と診断され、救急科で診断・治療を受けられた方

[利用している診療情報等の項目]

診療情報等：搬送日、年齢、性別、搬送元・発生場所、来院方法、来院時の意識状態とバイタルサイン、摂取した薬剤名、一般用医薬品または処方薬の別、薬剤の種類、推定摂取量、単剤または複数薬剤の別、飲酒の有無、摂取目的、過去の過量摂取歴、精神科受診歴、救急外来で行った処置、気管挿管、胃洗浄、活性炭・拮抗薬の使用、血液浄化療法、集中治療室への入室、入院の有無、入院期間、退院時の状態、院内死亡の有無を利用します。また、各年の全救急搬送患者数を集計値として利用します。血液、尿その他の検体は使用しません。

[利用の目的]　（遺伝子解析研究： 無 ）

急性薬物中毒で救急搬送された方の年齢構成が、2015年から2025年までにどのように変化したかを明らかにすることが目的です。特に、各年の急性薬物中毒患者に占める19歳以下の方の割合を調べます。併せて、性別、摂取薬剤、摂取目的、治療内容および転帰の変化を検討します。

[研究実施期間]　倫理審査委員会承認後より2027年12月までの間（予定）

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：東京女子医科大学　理事長　清水　治

研究責任者：東京女子医科大学 救命救急センター　助教　谷澤　秀

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学　救命救急センター　谷澤　秀

電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日9 時～16 時）